

ソフトウェアテストシンポジウム2008 東京(JaSST'08)プログラム 1/30(1日目)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
セッション0) 10:00~10:15 『15分』	セッションA0『15分』 オープニングセッション (JaSST東京実行委員会)					
セッション1) 10:15~12:00 『105分』	セッションA1『105分』基調講演: Software Quality In 2008 Capers Jones (Capers Jones & Associates LLC) ※同時通訳					
	休憩 12:00~13:00(60分)					
セッション2) 13:00~14:10 『70分』	セッションA2) エイヤッ！からの脱出 A2-1『30分』 どこでテストをやめるのか? 川村 真弥 (NEC)	セッションC2) リスクのクスリ C2-1『30分』 Risk based Testingの実践 方法と適用事例からの考察 石田 智亮 (NEC通信システム)	セッションB2) ベストの逆襲 B2-1『35分』 蟲眼鏡で蟲が見つかるか -テストプロセス改善の意義 - 小川 秀人 (日立製作所)	セッションD2) 冬深し、隣は何をする人ぞ D2-1『30分』 単体テストにおける 品質管理の盲点 田中 良治 (日本IBM)	セッションE2) チュートリアル1 E2『2時間50分』 チュートリアル1: Measuring Software Quality and User satisfaction. Capers Jones (Capers Jones & Associates LLC)	セッションF2) 強敵と書いて 「とも」と読む ～ASTAセッション～ F2『2時間50分』 アジア各国のテストリーダー からの発表 Asian Software Testing Alliance in 2008 Tokyo 司会:高橋 寿一 (ASTER) 「(発表内容調整中)」 Xiaodong Ke (中国、天津ソフトウェアテス ティングセンター) 「リスクベーステストの実際 ケーススタディをベースに - 」 Wonil Kwon (韓国、STEN (Software Test Engineers Network)) 「テストナリオアプローチ - 変更影響を分析する-」 Dr. Suhaimi bin Ibrahim (マレーシア、マレーシア工 科大学Centre for Advanced Software Engineering (CASE)) 「Testing Management Approach」 Yongtae Jung (ベトナム、Software Testing Alliance Vietnam(STAV)) ※同時通訳
	休憩 14:10~14:50(40分)	セッション3) テクノロジーセッション				
セッション3) 14:50~15:50 『60分』	C3『60分』 Web 2.0アプリケーションの 性能を検証する 岡崎 義明 (日本HP)	B3『60分』 3部構成で送る、 テスト専門会社バルテス 司会:角田 誠 (バルテス) 第1部:お客様が語る バルテステストサービス 中村 直文 (ヤマハ) 第2部:放送のデジタル化 とともにデータ放送 コンテンツテストの必要性 第3部:テスト専門会社による テスト教育カリキュラム! 石原一宏 (バルテス)	D3『60分』 継続的インテグレーションと テストによるソフトウェア リリースの迅速化 Jeffrey Fredrick ※逐次通訳 (アジャーネットウェア ジャパン)	A3『60分』 ISO/IEC9126 & MISRA-C:2004ベース ソースコード品質診断 波木 理恵子 (オージス総研) 中川 忠紀 (東陽テクニカ)		
	休憩 15:50~16:10(20分)					
セッション4) 16:10~17:40 『90分』	セッションD4) テスト設計かじり虫 D4-1『30分』 テスト分析の方法 HAYST法 とマインドマップを使って 永田 敦 (ソニー) D4-2『30分』 テストの“質”評価と 欠陥分析による ソフトウェア信頼性評価 堀 明広 (ソフトウェア技術者 ネットワーク) D4-3『30分』 不具合に関する知識の 抽出に関する研究 河野 哲也 (電気通信大学大学院)	セッションD4) テスト設計かじり虫 (中継) 第1会場で行われているセッ ションを中継にてご覧いただ けます。	セッションC4) はなまるJaSST ～ソフトウェアテストの 生活情報～ C4『90分』 ライトニングトークス (JaSST東京実行委員会)	セッションA4) ワクワクさせたい人 寄っついで～ A4-1『45分』 パックマンを事例とした ゲーム設計のあり方 岩谷 徹 (東京工業大学)	セッションB4) モデル検査 ブートキャンプ B4-1『30分』 支援ソフトウェアを活用した 実践的モデル検査 篠崎 孝一 (関西電力)	
	休憩 17:40~18:00(20分)					
	セッション5) 18:00~19:30 『90分』	セッションD5) ソフトウェア開発の 最新動向 ～実践的アプローチ～ （中継）	セッションC5) はなまるJaSST ～ソフトウェアテストの 生活情報～ C5『90分』 ライトニングトークス (JaSST東京実行委員会)	セッションA5) ワクワクさせたい人 寄っついで～ A5-1『45分』 パックマンを事例とした ゲーム設計のあり方 岩谷 徹 (東京工業大学)	セッションB5) モデル検査 ブートキャンプ B5-1『30分』 支援ソフトウェアを活用した 実践的モデル検査 篠崎 孝一 (関西電力)	
	休憩 19:30~20:00(30分)					
	セッション6) 20:00~21:30 『90分』	セッションD6) ソフトウェア開発の 最新動向 ～実践的アプローチ～ （中継）	セッションC6) はなまるJaSST ～ソフトウェアテストの 生活情報～ C6『90分』 ライトニングトークス (JaSST東京実行委員会)	セッションA6) ワクワクさせたい人 寄っついで～ A6-1『45分』 パックマンを事例とした ゲーム設計のあり方 岩谷 徹 (東京工業大学)	セッションB6) モデル検査 ブートキャンプ B6-1『30分』 支援ソフトウェアを活用した 実践的モデル検査 篠崎 孝一 (関西電力)	
	休憩 21:30~22:00(30分)					

ソフトウェアテストシンポジウム2008 東京(JaSST '08) プログラム 1/31(2日目)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	
					セッションE5) チュートリアル2 9:30~12:00		
セッション5) 10:00~11:30 《90分》	セッションD5) 自動化マン！	セッションB5) 早期品質警報システム	セッションC5) 進化した テスティングライブ 2008	セッションA5) 笑って仕事しようよ、 上向いて仕事しようよ		セッションF5) 3年B組テストハ先生	
	D5-1《20分》 スクリプトレスによる テスト自動化事例 小池 麻衣 (NEC ネクサソリューションズ)	B5-1《30分》 品質向上のための 仕様書＆評価 -上流工程からの品質追求- 関 盛昭 (Sky)	C5《90分》 今年もやります。 テスティングライブ	A5《90分》 実証された チームビルディング -最高の品質を支える チームとは-		F5-1《70分》 いまどきのテスト教材 小首 貴彦 (日本電子専門学校)	
	D5-2《20分》 フリーウェアで作る自動テスト -UWSCの利用例- 古江 智和 (フォーラムエイト)	B5-2《30分》 定量メトリクス・データによる Defect Preventionの実践 細川 宣啓 (日本IBM)	司会・実況・解説： 天野 勝 (永和システムマネジメント)	1. チームビルディングの理 論と実践方法 2. やってみよう、アイスブ レーク 3. 事例 モバイルFelica開 発 全体像 4. 事例 チームビルディン グの実際 5.まとめ	E5《2時間30分》 チュートリアル2: 現場の仕事が パリパリ進むテスト計画 湯本 剛 (豆蔵)		
	D5-3《20分》 オープンソースの テストケース管理ツール TestLinkの活用事例 川西 俊之 (情報工房)	B5-3《30分》 目覚めよ！品質大国民ニッポン 始めから正しいことをやる - SQuBOK Guideによる 「レビュー」- 古賀 恵子 (日立製作所 ソフトウェア事業部) 池田 晃 (日立情報通信 エンジニアリング)	参加チーム： チーム ぶろべつQ (シーエー) 藤崎ショッピング (ヴェス)	問題作成・バグ判定： 守谷 嘉史 (豆蔵)	松尾谷 徹、岡田 豊子、他 (PS研究会) 栗田 太郎、増田 礼子 (フェリカネットワークス)	F5-2《20分》 テスト技術教育の事例紹介 -テストエンジニアの 知恵を育てる- 沼倉 靖弘 (シーエー)	
	D5-4《20分》 デジタル家電に対するAll-Pairテストの改善と適用 川上 真澄 (日立製作所)						
		休憩11:30~11:50《20分》				セッションF6) テクノロジーセッション	
セッション6) 11:50~12:50 《60分》		セッション6) テクノロジーセッション					
		F6-1《15分》 モジュール単体テストと 検出すべき不具合について 嶋田 卓尚 (ガイオ・テクノロジー)			休憩12:00~12:15《15分》		
		F6-2《15分》 ロボットを使ったテスト 自動化ソリューション 小宮 洋行 (ベリサーブ)			テクノロジーセッション 12:15~12:50		
		F6-3《15分》 テスト時バグ情報の共有と 管理を基にした定量的指標 に基づく組織的品質保証に ついて(組織的品質保証 ツール 「Q-One」の紹介) 熊様直哉 (構造計画研究所)	A6《60分》 J-SOX法から考える 性能テスト 山岡 英明 (エンビレックス)	B6《60分》 テストの短期化要請に応え る『JudgePruefer』(仮 題) 藤川 亮子 (富士通)	E6-1《15分》 組込みソフトウェア品質向上 ソリューションご紹介 菅野 修也 (エーアイコーポレーション)		C6《60分》 テストエンジニアの地位 向上が、IT業界を変え、 日本を作る (現場主導で作る テスト業界) 生田 泰宏 (シーエー)
					E6-2《15分》 [開発のプロとして] 静的解析ツールの徹底活用 ～PGRelief 2007 autumn～ 辻本 寛 (富士通ソフトウェア テクノロジーズ)		
		休憩 12:50~13:50《60分》					
セッション7) 13:50~15:20 《90分》	セッションA7《90分》 招待講演： 软件製品の品質保証を巡る 人間特性の諸問題 菅野 文友 (系統技術研究所)						
	休憩15:20~15:40《20分》						
セッション8) 15:40~17:10 《90分》	セッションA8《90分》 品質談義：菅野・ジョーンズのバグらない話 モダレータ：菅田 直美(NEC) Capers Jones (Capers Jones & Associates LLC) 菅野 文友 (系統技術研究所)						
	※逐次通訳						
セッション9) 17:10~17:30 《20分》	セッションA9《20分》 クロージングセッション (JaSST東京実行委員会)						

※各セッション会場は当日変更になる場合があります。ただし時間帯は変わりません。